



大阪+知的障害+地域+おもい=創造

## 知の知の知の知

社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 社会政策研究所情報誌通算 3856 号 2017.8.25 発行

### 大阪府警 児童虐待対策室に密着

カンテレ報道ランナー 2017年8月21日

昨年度、大阪の児童相談所が対応した、子どもへの児童虐待の件数は1万7743件にのぼりました。過去最多を更新し、全国ワーストとなっています。

こうした現状を受けて、大阪府警は、ことし4月、全国で初めて、児童虐待を専門に捜査する部署を立ち上げました。

虐待を見つけるための、独自の捜査方法とは？

密着取材しました。

【大阪府警の捜査員】「すみません、大阪府警察本部の少年課の××といいます。きのう午後6時ぐらい子供さんが泣いていたとか事実はなかった？」

【マンションの住人】「そうですね。隣のマンションで聞こえる感じはする。 気になるっ言うよりはぐずって泣いているような感じ」



大阪府内のマンションを、一室一室、訪ねる捜査員。

ことし4月、大阪府警に立ち上がったばかりの「児童虐待対策室」の取組みです。

去年、大阪・千早赤阪村の山の中で梶本樹李ちゃん（当時3）の遺体が発見された事件。

両親が樹李ちゃんに暴行して死亡させた傷害致死の罪などで起訴されま

した。

実はこの事件、発覚の4年前に樹李ちゃんは一時、児童相談所に保護されていました。

しかし、その後、保護が解除され、樹李ちゃんが両親の元へ返されたことを、児童相談所は警察に伝えていませんでした。

守れなかった幼い命。

この事件をきっかけに、大阪府警は虐待の被害にあった子どもを両親の元へ返す場合など、児童相談所から連絡を受けることができる協定を結びました。

そして、ことし4月、全国の警察で初めて児童虐待に特化した部署、「児童虐待対策室」が発足したのです。

いま対策室が力を入れているのが、「泣き声通報」への対応です。



泣き声から虐待されている子どもがいなかを探る取り組みで、この日は府内のマンションで「母親の怒る声と子どもの泣き声がする」という通報を受け、捜査員が出動しました。

【大阪府警の捜査員】「昨日午後6時ぐらいに子供さん泣いていた事実なかったですか？」

【住人】「そうですね。午後6時頃は公園から帰ってきてお風呂に入ってたから」

【大阪府警の捜査員】「近所で聞いたとかもないですか？」

【住人】「昨日はそこまで。普段からはちょこちょこ夜にきこえるなって。小さい時って夜泣きとかするじゃないですか」

聞き込み捜査が住民に煙たがられるケースもあります。

【住人】「何があったんやろうと、一瞬びっくりします。突然こられますと。

私も女の子一人育てましたけど、本当にどうしようもないときあるんですよ。ただわめいてきかない。そういう時ってこっちもどンドンエスカレートするから私もすごく怒る時2、3回あった」

【大阪府警の捜査員】「いないですね～」

夜になっても帰って来ない家庭が多いため、捜査員はマンションの入り口で聞き込みをすることに...

その時...

【泣き声】「えーん、えーん」

赤ちゃんの泣き声が...まさか虐待があったのでしょうか？

【大阪府警の捜査員】「こっち側の道路で聞こえたんで、中で聞いている人がいるかも」捜査員にも緊張が走ります。

【大阪府警の捜査員】「このあたりから子どもの泣き声が聞こえたのですが、子どもの声を聞かせてもらっていいですか？」

子どもの無事を確認していきます。

【大阪府警の捜査員】「どこにいったのかな、晩ごはん？」

【子ども】「ラーメン屋さん」

80の部屋を訪ねましたが、結局、この日は泣き声がした家庭を特定できませんでした。

【大阪府警の捜査員】「きけてないところで帰ってきたのは201ですね。301は今日もあたっています」

【別の捜査員】「きょうもあたっている？該当なし？仕切りなおしということで日を改めましょうか」

対策室が「泣き声通報」で出動したのはおよそ4ヵ月間で15件、このうち虐待の疑いがあるとして3件を児童相談所に通告しています。

対策室長は...

【大阪府警 児童虐待対策室 荒武泰子室長】「子どもは親だけのものではない。社会の宝と考えています。虐待に苦しむ子どもを一人でも多く救って、重大事件に発展することのないように全力で頑張りたいと思います」

子どもの安全確保のため、草の根活動を続ける対策室。

一方、児童相談所が目指すのは家庭の再構築です。



情報共有が進んだことを評価しながらも、警察が積極的に家庭へと介入することには慎重な姿勢を示しています。

【大阪市子ども相談センター 音田晃一 相談支援担当課長】「保護者としては警察が入ることで抵抗感を持つことはあると思う。われわれの最終目標は、子どもが生まれ育った家庭で生活していただけたらそれが一番いい形」

助けを求めているのは、子どもだけではありません。

【Aさん】「虐待していたら引き離されたら正直一瞬はほっとする。虐待してる側もしんどい」



そう話すのはシングルマザーの26歳のAさん。

7歳の娘に関心が持てない、いわゆる「ネグレクト」です。

【Aさん】「子どもって生まれたらかわいがれると思っていたんですけど、嫌いじゃないけどかわいがない」幼かった頃、今の自分と同じようにシングルマザーの母親が深夜まで働いていたため、孤独を感じていたAさん。

愛情を受けた経験がないまま19歳で結婚し、出産しました。

【Aさん】「(娘は) ママ全然遊んでくれへんしなって言ってきます。ママもお母さんに遊んでもらったことないからわからないって返しています」

Aさんは大阪市の自立支援団体に通い、面談などを通して自分を見つめ直してきました。

【Aさん】

「お風呂入るって言って、入らなくて、2回目言って入らなくて3回目で怒ってなんで入れへんねんでめっちゃ怒ったけど、あたしが怒るのしんどいから、明日の朝でもいつかというようになって、イライラするのが少なくなった。子どもに完璧を押し付けていたんやなって。悪かった」Aさんを支えてきた自立支援団体の代表は、親が立ち直らない限り、虐待の連鎖は断ち切れないと指摘します。



【自立支援団体 WANA関西 藤木美奈子代表】「警察と行政にわかってもらいたいのは、子どもを虐待してしまう親は自身の心の叫び、親自身の心の深い傷がそうさせている。

それをケアするようなプログラムにに入れてあげてほしい。特に親のケアを中心に進めていってもらえるのなら、一時的な介入、警察の連携はありやと思います」

どうすれば、虐待から幼い命を守ることができるのか？

【大阪府警の捜査員】「子どもの泣き声が聞こえていて。また気になることがあったら110番とか連絡してくれたら...」

対策室は子どものSOSを探し続けます



## <年金プア 不安の中で> 認知症の母、援助する娘の家計圧迫

中日新聞 2017年8月24日



母（右）に月4万円を援助する娘だが「経済的に苦しい」と窮状を漏らす

年金だけでは生活費が足りない高齢の「年金プア」。年齢を重ねるにつれ、アルバイトなどの仕事ができなくなり、息子や娘から支援を受けるケースは多い。介護を受けることもしばしばで、子ども側の負担は重い。家計に余裕がない上に親への支援を強いられると、子ども側の生活まで苦しくなる。年金プア高齢者への家族支援の実情を探った。

東海地方の地方都市の高齢者施設の一室。軽い認知症の母（81）を娘（53）が訪ねた現場に同席させてもらった。もの忘れが激しくなったというが、「他の入居者と食堂で話をしたり、楽しい日々です」と愛想よく笑顔を見せた。

母はかつて、娘夫婦と同居していたが、自宅周辺を徘徊（はいかい）し迷子になって帰宅できなくなることもあったため、二年前に施設に入居した。それ以来、娘は週に一回は母の部屋を訪ねている。母には月四万円を援助しているが「自分も経済的にきつくて大変なんです」と漏らした。

母の収入は、建設会社の経営者だった自らの夫が死亡した四十三年前から受給している遺族厚生年金で、月七万円余り。うち約六万八千円は施設の利用料に消える。利用料には食事代が含まれるが、個室での電気代や施設の旅行・食事会の積立金などは含まれず、不足分を娘が援助している。

二十歳以上六十歳未満の人が国民年金に強制加入となった一九八六年以降、母は国民年金加入者となったが、保険料を支払っていなかったため、老齢基礎年金の受給資格はない。

夫を失った後、母は喫茶店の経営を始めたが、経営は思わしくなく、十数年前には銀行からの借金の返済が困難に。娘はあちこちで借金して、母親が抱えた借金の返済に充てたが、経営状況は好転せず、八年前に母は自己破産した。負債は五千万円を超えていた。

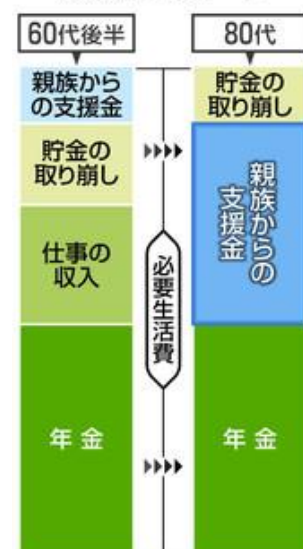
団体職員の娘の手取りの月給は約二十四万円。節約に努めて、自分名義の預金額は二百万円を超した。それでも見通しは明るくない。母への援助額は年間五十万円近く。職場の定年も十二年後に控える。その上、個人事業主の夫が病気がちで今は働いておらず、今後も夫の稼ぎは計算に入らない。寂しげなつぶやきが漏れた。「母を援助する気持ちはやまやまなのですが、母が長生きしたら、生活保護を受けてもらわねばならないかもしれません」

### ◆無理せず、公的支援活用を

年金だけでは足りない生活費をどう捻出するか。六十代ではアルバイトなどで収入を得ていても、高齢になるにつれ働けなくなり、八十代になると仕事をしている人は少ない。そのため、足りない分は親族からの支援に頼ることは多い＝図参照。

支援金については出す側、受ける側ともに互いの状況を理解することが必要だ。生活困窮者を支援する「NPO法人ほっとプラス」（さいたま市見沼区）で相談員を務める高野昭博さん（62）は「親も子どもに負担をかけるのはつらく、複雑な心境の人が多。親が認知症などの場合は難しいが、親子両方が気を

### 年金プアのやりくりの変化のイメージ



使って、けんかが起きないようにするのが重要」と強調する。

高野さんはさらに「年金が少ない親が長生きすればするほど、十分な額の援助をするのは難しい。子どもが頑張り過ぎると、親子ともども経済的に破綻して共倒れするケースもある」と指摘。そういった場合については「生活保護など公的な支援制度の活用を検討すべきだ」とアドバイスしている。（白井康彦）

## 生きる喜びロックに 県内障害者ら、動画で世界へ発信



熊本日日新聞 2017年08月24日

「Imagine 2020」熊本実行委員会が制作したミュージックビデオ（MV）の映像。障害者らが生き生きとした笑顔を見せる

神奈川県障害者施設「津久井やまゆり園」で、入所者19人が殺された事件から1年余りが過ぎた。「障害者なんていなくなっしまえ」。起訴された元職員の差別的な発言が波紋を広げる中、県内の障害者らがロックンロールに乗せて生きる喜びを表現したミュージックビデオ

（MV）が完成した。26日、動画投稿サイト「ユーチューブ」で公開される。

MVを作ったのは「Imagine 2020」熊本実行委員会。2020年の東京五輪・パラリンピックに向け、障害者の表現の場を広げようと、県内の障害者施設の職員や教師、デザイナー、カメラマンらが、昨年9月に立ち上げた。

「Imagine 2020」は、知的障害者や支援者らでつくるロックバンド「サルサガムテープ」のリーダー・かしわ哲さん（67）＝神奈川県＝が提唱して始まった。2年前から全国各地でイベントを展開。熊本実行委も昨年11月、熊本市内でライブなどを実施した。

かしわさんは、やまゆり園事件をきっかけに、障害者の生きる喜びを表した新曲「ワンダフル世界」を制作。今春、実行委員長で障害者施設を運営する西田徹さん（50）＝熊本市＝に「熊本バージョンのMVを作り、全国に先駆けて広げてほしい」と投げ掛けた。

事件は昨年7月26日発生。西田さんは「人の持つ差別意識が明るみになった。ネットでは元職員の発言に賛同する意見も多く、衝撃だった」と振り返る。障害があっても、みんなハッピーに生きている。そんな思いを伝えようと、二つ返事で依頼を受けた。

7月に制作開始。県内各地の障害者施設などで撮影し、約8分の映像に仕上げた。〈しあわせになるため生まれてきたんだ 生きていることが大好きなのさ〉。10団体約140人が出演し、「ワンダフル世界」のメロディーに乗せて生き生きとした笑顔を見せる。

山都町の障害者施設メンバーらでつくるバンド「ザ☆スクランブルズ」も参加。ベース担当で、小児まひの渡邊武士さん（54）＝同町＝は「事件で弱者への差別がなくなっていないことに気付き、悲しかった。障害がある人もない人も、幸せに生きる世界が必要。音楽は両方をつなぐ力がある」と話す。

MV公開は月命日の26日午前0時。西田さんは「映像は、どれもありのままの風景。ポジティブに生きるみんなの姿を見てほしい」と話している。（白杵大介）

## 島根の民芸品ドバイで インド人実業家が商談 障害者支援の一環

山陰中央新報 2017年8月24日

中東・アラブ首長国連邦のドバイを拠点にするインド人実業家の男性が21日から3日間、松江、浜田両市で、障害者が働く3事業所を視察した。男性は、世界各地で障害者が製作する民芸品の輸入販売を社会貢献につなげたいと事業を展開。石見神楽の衣装や面など日本の伝統文化を色濃く反映した島根の民芸品を気に入り、「ぜひドバイで展示・販売し

たい」と仕入れに前向きな意向を示した。

視察に訪れたのは、空港などの土産物店に工芸品を卸す会社などを経営するファキーさん（47）。ドバイを中心に約70店舗で各国の民芸品を販売しているという。社会貢献活動として、全商品の2割を障害者が働く事業所などから仕入れ、販路拡大の一翼を担っている。障害者が製作した石見神楽の衣装を試着し、工房を見学するファキーさん＝浜田市金城町下来原、ワークくわの木



インド南部ケララ州の出身で、2月に同州コチ市であったケララ産業展で山陰インド協会（松江市）が初出展したブースを訪れたのが縁となった。「ドバイでは日本の民芸品に興味を持つ人が多いが、取り扱う店が少ない」といい、協会事務局に問い合わせた視察が実現した。

21、22の両日は松江市北堀町のごうぎんチャレンジドまつえと同市古志町の四ツ葉福祉会を視察。23日は浜田市金城町下来原のいわみ福祉会が運営するワークくわの木を訪れて、利用者が製作する神楽面や衣装を試着した。ファキーさんは「伝統的で素晴らしい技術を持っている。一步一步、ビジネスを進めていきたい」と、積極的な姿勢を示した。

ワークくわの木で営業を担当する佐々木満さん（38）は「培った物づくりの技術を多くの外国人に知ってもらいたい。このチャンスを生かしたい」と期待した。

ファキーさんは29日までの来日期間中、島根のほか、奈良、東京、大阪などに滞在し、仕入れ先の拡大を図る。

## 中学給食食べ残し「最多」→「最少」 達成導いた生徒の取り組みとは



神戸新聞 2017年8月24日  
給食の残菜ゼロに取り組んだ（左から）高島涼馬さんと山口ひかりさん、生徒会顧問の黒田一真教諭と玉田哲義教諭＝社中

兵庫県加東市立の小中学校12校の中で、一人当たりの給食の食べ残しが最も多かった社中学校（同市木梨）の生徒たちが残菜を減らす運動を展開し、このほど市内で最少を達成した。各クラスの食べ残しを点数化して公表することで減らす意識を養うなど工夫を重ねた。旗振り役の生徒会メンバーは「全校生が団結できた。これからも作ってくれた人への感謝を忘れずにいただき

ます」と話している。（桑野博彰）

市学校給食センターは毎月、小学校9校と中学校3校の食べ残しを調べて各校に伝えているが、社中はここ数年、最下位続き。特に和食のおかずや野菜などが不人気で、生徒によると「苦手は残して当然」という意識が浸透していたという。

「このままではいけない」と意識改革に着手したのは、本年度の生徒会給食部長になった3年の高島涼馬さん（14）と山口ひかりさん（14）。顧問教諭の協力も得て5月から運動を開始した。

2人はポスターやクラス訪問での呼び掛けなどを展開。さらに、全13クラスの食べ残しを点数化して少ない順に公表し、最下位のクラスには対策も考えてもらった。最初に取り組みに無関心だった生徒も、残った給食を引き受けるなど次第に協力的になったという。

その結果、5月分の食べ残しは最下位を脱して12校中5位、中学では3校中1位と大

大きく改善。6月は12校中1位を達成した。

山口さんは「苦手だった牛乳を家でも飲むようになった」といい、高島さんは「みんな好き嫌いが少し克服できたと思う。目標は残菜ゼロの達成」と話す。

顧問の玉田哲義教諭(33)は「生徒の自主的な取り組みを今後も続けてほしい」と期待している。

### 養護学校の送迎バス、40分間に3回の自損事故

読売新聞 2017年08月24日

青森県立八戸第一養護学校(八戸市大久保)の送迎バスが22日朝、約40分間に自損事故を3回起こしていたことがわかった。

乗車していた児童や職員らにけがはなかった。

同校によると、バスは22日午前7時10分頃、児童を迎えに行くために、職員3人を乗せて同校を出発した直後、校門に接触。その後、バックした際にミラーを道路脇の信号制御機にぶつけたほか、走行中に道路脇の縁石のようなものにバンパーをぶつけた。途中から児童ら3人が乗車していた。3度目の事故後に同乗の職員が運転をやめさせ、児童の保護者に送迎を依頼した。

運転していたのは、仙台市の運転手派遣会社から派遣されていた青森県内在住の男性(66)。3年前から児童の送迎をしていて、事故を起こしたのは初めてだったという。中村健校長は「再発防止について派遣会社と話し合いたい」と話した。

### 通学見守りの79歳自治会長、中学生買春の容疑

読売新聞 2017年08月24日

女子中学生とみだらな行為をしたとして、警視庁城東署が、東京都江東区新砂、前田隆容疑者(79)を児童買春・児童ポルノ禁止法違反(児童買春)容疑で逮捕したことが捜査関係者への取材でわかった。

前田容疑者は地域の自治会長を務め、登校する子供たちの見守りにも立っていたという。

捜査関係者によると、前田容疑者は今月11日、中学1年の女子生徒に現金1万円を渡す約束をして、みだらな行為をした疑い。

住民らによると、前田容疑者は朝の通学時間帯の見守りに立ち、小学生らに積極的にあいさつする一方で、子どもらを自宅に自由に出入りさせて飲食をさせていたという。

### 健常者と障害者 触れあう催しに

読売新聞 2017年08月24日

◇9月1日開幕 国文祭・障文祭 初の一体開催

9月1日に県内で始まる「第32回国民文化祭・なら2017」と「第17回全国障害者芸術・文化祭なら大会」の開幕式典について、県が23日発表した。1日午前11時40分から近鉄奈良駅前、同日午後0時30分から近鉄大和八木駅で、演奏やダンスなどを披露して開幕を祝う。

2日には皇太子さまが出席される開会式がある。音楽、舞踊、美術、文芸など103のイベントを県内の全市町村で行い、11月30日に閉幕する。

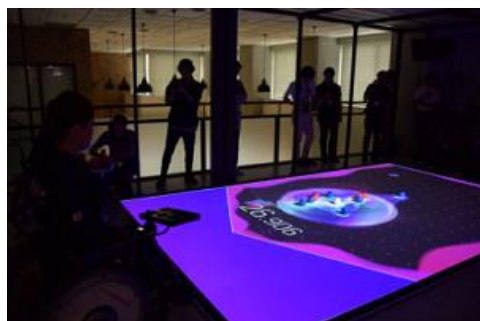
国文祭と障文祭が一体開催されるのは全国初となる。県は「国文祭・障文祭なら2017」と銘打ち、文化を通して様々な人が触れあえる催しにしたいという。従来は開催時期が別々だったが、県が国と折衝し、時期を合わせた。

荒井知事は23日の定例記者会見で「国文祭は文化庁、障文祭は厚生労働省所管だが、今回は縦割りを克服した。健常者と障害者が共存できるイベントを目指す」と話した。

### デートでも楽しめる! 「サイバーボッチャ」登場

読売新聞 2017年08月24日

障害者スポーツ「ボッチャ」を、遊技施設などで一般の人も手軽に楽しめるようにしたデジタルゲーム「CYBER BOCCIA (サイバーボッチャ)」の記者発表会が23日、東京都内で行われた。「デートにも使える楽しくかっこいいスポーツ」として世間に浸透させることで、3年後に迫った2020年の東京パラリンピックに向け、競技人口やファンの増加を狙う。



#### サイバーボッチャで遊ぶ様子（8月23日、都内で）

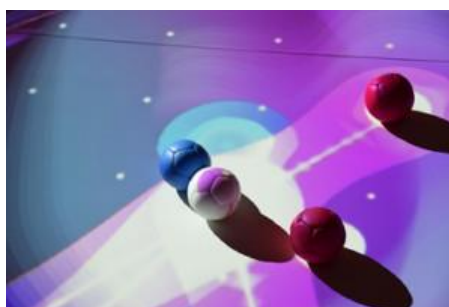
ボッチャは、イタリア語で「ボール」の意味だ。白い目標球（ジャックボール）に、赤、青のボールを持つ対戦相手同士が、どれだけボールを近づけるかを競う。2016年リオデジャネイロ・パラリンピックで日本チームが銀メダルを獲得し、注目度が上がった。

ゲーム

化されたサイバーボッチャは、通常のコートの中の半分（幅3メートル、奥行き5メートル）で行う。ルールやボールは実際の試合と同じだが、審判員はいない。ボールが転がってコート上の位置が決まるたびに音が鳴って、華やかなイルミネーションがきらめき、自動的に計算されたポイントや結果の勝ち負けがコート上に大きく映し出される。スポーツというより、音と色に彩られたゲームそのものという感じだ。

各場面で色がどんどん変わり、ゲームを盛り上げる光と音でワクワク感を演出

開発したのはワントゥーテン（本社・京都市）。今年1月に発表したVR（バーチャルリアリティー）で車いすマラソンなどを体験できる「CYBER WHEEL」に次ぐ、「CYBER SPORTS」プロジェクトの第2弾だ。沢辺芳明社長は「ボッチャの理解や認知度は進んだが、ファンになるか、競技会場に足を運ぶかまでには溝がある。ロンドンパラリンピックでは会場は満員だったが、リオでは半分近くチケットが売れ残った。2020年の東京も危ない」と話し、障害者スポーツの枠を超えてボッチャを



一般に普及させる必要性を訴えた。

#### 前右列から杉村英孝選手、ワントゥーテンの沢辺芳明社長、広瀬隆喜選手（8月23日、都内で）

デモンストレーションには、リオパラリンピック混合団体戦で銀メダルを獲得した広瀬隆喜、杉村英孝両選手も参加。広瀬選手は「通常のボッチャにはない演出のドキドキ感、ワクワク感の中で、よりボッチャの楽しさが伝わるのではないかと話していた。



販売価格は1セット600万円（税別）。全国のバーやカフェ、ゲームセンターや企業などに設置してもらうことを念頭に最低100台の売り上げを目指すという。また、一般社団法人日本ボッチャ協会公認のゲームとなっており、販売収益などの10%が同協会に寄付され、選手強化に役立てられる。

